

2021年11月19日

株式会社 INPEX
広報・IRユニット
(電話 03-5572-0233)

当社ガスパイプラインネットワークの復旧工事について（お知らせ）

2019年10月に発生しました台風19号による当社のガスパイプラインネットワークへの影響については、同年10月13日及び10月29日※に当社ホームページにてお知らせしておりましたが、今般、復旧工事の詳細が固まり、2022年より工事に着手することから、工事内容と今後の予定について、以下の通りお知らせ致します。

尚、長野県東御市本海野地内にて交差していた東京ライン及び松本ラインは、千曲川の増水・氾濫による損傷を受けたため、損傷部分を撤去したうえで交差部を挟んだ両側でそれぞれ異なるラインと接続した仮の状態で運用しているため、被災前に比べパイプライン輸送能力が一部制限された状態にありましたが、当該復旧工事实施により、被災前に比しパイプライン輸送能力、運用の柔軟性とも向上することから、よりレジリエンスの高いネットワークとなります。

※ [台風19号の影響について（お知らせ）（inpex.co.jp）](#)

[台風19号の影響について（第二報）（お知らせ）（inpex.co.jp）](#)

【復旧工事概要及び今後の予定】

1. 当該損傷部の復旧計画について、安全性及び供給レジリエンスの観点で検討を行った結果、以下の復旧工事を実施致します。
 - (1) 復旧部を千曲川の河床よりも一定以上深い深度に設置することで、同様の河川氾濫においても影響を受けない仕様といたします。
 - (2) 東京・松本ラインをそれぞれ再接続することに加え、これまで交差していた両ラインを新たに接続することで、パイプライン輸送能力の増強を図ります。
2. 上記の復旧工事計画について地元住民及び関係の皆様へ説明しご了解を頂いたことから、経済産業大臣に工事計画の届け出を行い、受理されております。
3. 今後、2022年初からパイプライン敷設工事、2023年央から両ラインの接続ステーションの建設工事にそれぞれ着手し、2024年末に工事完了・運用開始の予定であります。

ステークホルダーの皆様には引き続きご迷惑をお掛け致しますが、安全最優先で工事を進めてまいりますのでご理解のほど、よろしくお願い致します。

【長野県東御市本海野地内のパイプライン被災～復旧の状況】

